

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	ギタークラフト概論A		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	ギタークラフト概論A	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	75回(75単位時間)	年間単位数	5
科目設置コース	ギター製作研究コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
ギター・ベースギターの種類は構造上大きく2つ、細かくは5つに分類される。それぞれの特徴的な加工方法や手順があるため、種類ごとの製作法を学ぶ。					
到達目標					
オリジナル作品を製作するための知識の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～37回目	在学中における3作品目以降は自由製作であり、選択した製作モデル毎に分けて講義を行う。				
	・ソリッドモデル ①デタッチャブルモデル ②セットネックモデル ③スルーネックモデル ・アコースティックモデル ④フルアコースティックモデル ⑤フラットトップアコースティックモデル				
	以上5つに分類される構造から、希望するモデルを選択し、その工法を学ぶ。				
	内容はそれぞれのモデルに合った作業工程を「ギター製作概論Ⅰ」と同様に行う。				
【後期】 38～75回目	在学中における3作品目以降は自由製作であり、選択した製作モデル毎に分けて講義を行う。				
	・ソリッドモデル ①デタッチャブルモデル ②セットネックモデル ③スルーネックモデル ・アコースティックモデル ④フルアコースティックモデル ⑤フラットトップアコースティックモデル				
	以上5つに分類される構造から、希望するモデルを選択し、その工法を学ぶ。				
	内容はそれぞれのモデルに合った作業工程を「ギター製作概論Ⅰ」と同様に行う。				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	ギタークラフトA		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ギタークラフトA	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	781回(781単位時間)	年間単位数	26
科目設置コース	ギター製作研究コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
ギター、ベースギター(ソリッドモデルまたはアコースティックモデル)の製作を行う。					
到達目標					
各々の目標を設定した技能向上、および新工法の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～353	1作品目の製作 ラフスケッチ・製図・木工加工ネック/ボディ・塗装・配線・組み込み・調整				
【後期】 354～781	2作品目の製作 ラフスケッチ・製図・木工加工ネック/ボディ・塗装・配線・組み込み・調整				
評価方法	実習製作物の評価、出席率、平常点の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	作業進行が速い場合、2年次3本目以降の製作も可能。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	ギタークラフト概論B		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	ギタークラフト概論B	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	22回(22単位時間)	年間単位数	1
科目設置コース	ギター製作研究コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
ギター・ベースギターの種類は構造上大きく2つ、細かくは5つに分類される。それぞれの特徴的な加工方法や手順があるため、種類ごとの製作法を学ぶ。					
到達目標					
オリジナル作品を製作するための知識の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～10回目	在学中における3作品目以降は自由製作であり、選択した製作モデル毎に分けて講義を行う。				
	・ソリッドモデル ①デタッチャブルモデル ②セットネックモデル ③スルーネックモデル 以上3つに分類される構造から、希望するモデルを選択し、その工法を学ぶ。				
	内容はそれぞれのモデルに合った作業工程を「ギター製作講義Ⅰ」と同様に行う。				
【後期】 11～22回目	在学中における3作品目以降は自由製作であり、選択した製作モデル毎に分けて講義を行う。				
	・ソリッドモデル ①デタッチャブルモデル ②セットネックモデル ③スルーネックモデル 以上3つに分類される構造から、希望するモデルを選択し、その工法を学ぶ。				
	内容はそれぞれのモデルに合った作業工程を「ギター製作講義Ⅰ」と同様に行う。				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	ギタークラフトB		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ギタークラフトB	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	260回(260単位時間)	年間単位数	8
科目設置コース	ギター製作研究コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
ギター、ベースギター(ソリッドモデルまたはアコースティックモデル)の製作を行う。					
到達目標					
各々の目標を設定した技能向上、および新工法の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～120	1作品目の製作 ラフスケッチ・製図・木工加工ネック/ボディ・塗装・配線・組み込み・調整				
【後期】 121～260	1作品目の製作 ラフスケッチ・製図・木工加工ネック/ボディ・塗装・配線・組み込み・調整				
評価方法	実習製作物の評価、出席率、平常点の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考	作業進行が速い場合、3年次2本目以降の製作も可能。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	ギターリペア講義Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	ギターリペア講義Ⅱ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	272回(272単位時間)	年間単位数	18
科目設置コース	ギター製作研究コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴						
授業概要						
ギター、ベースギターに起こり得る、さまざまな故障に対する修理について。プレイヤーの意向に合わせて演奏性を高めたり、音を作ったりしていく調整、セッティングのパターンとその効果について。						
到達目標						
リペアに関する多くの方法論の修得。調整によって楽器として機能させる為の理論の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～40回目	治具製作・フレットすり合わせ/交換					
【前期】 41～82回目	ナット交換・PU交換					
【前期】 83～124回目	セットアップ・各部調整					
【後期】 125～166回目	コントロール改造・ノイズ対策・PG製作・ネックの反りリペア・PU改造・フレット交換・					
【後期】 167～208回目	フレットレス加工・リフィニッシュ・ネック折れ・レストア・フレットバリ取り					
【後期】 209～250回目	フレットサイド加工/頂点加工					
【後期】 251～272回目	ナット加工・フレットレスベース調整					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	ギターリペア実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ギターリペア実習Ⅱ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	302回(302単位時間)	年間単位数	10
科目設置コース	ギター製作研究コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
「ギターリペア基礎Ⅱ」の内容を元に、実習を行う。					
到達目標					
需要の多い修理や改造の練度を増す。また調整によって楽器としてより機能させる為の技術の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～44回目	治具製作・フレットすり合わせ/交換				
【前期】 45～90回目	ナット交換・PU交換				
【前期】 91～134回目	セットアップ・各部調整				
【後期】 135～180回目	コントロール改造・ノイズ対策・PG製作・ネックの反りリペア・PU改造・フレット交換				
【後期】 181～224回目	フレットレス加工・リフィニッシュ・ネック折れ・レストア・フレットバリ取り				
【後期】 225～270回目	フレットサイド加工/頂点加工				
【後期】 271～302回目	ナット加工・フレットレスベース調整				
評価方法	実習製作物の評価、出席率、平常点の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	アンプ・エフェクター講義		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	アンプ・エフェクター講義	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	272回(272単位時間)	年間単位数	18
科目設置コース	ギター製作研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ギターメーカーで営業・開発業務を担当。アンプ・エフェクターに関わる開発、修理の経験を活かし、講義を行う。				
授業概要					
使用頻度の高い部品や回路設計や修理・改造を行う際の部品選択についての解説。アンプ・エフェクターに関する様々な回路設計の基礎や設計のセオリーの修得、修理、改造に必要なとなる機材の使用方法および故障例と修理例を学ぶ。回路図の書き方や基板パターンの引き直し方法などの他に、筐体となるアルミケースやシャーシの加工方法、塗装方法、デザインなどについて学ぶ。					
到達目標					
アンプ・エフェクターに使用される様々な電子部品・機構部品に関する基礎的な知識の修得。オリジナル回路の設計・製作。修理、改造の際に求められる予備知識の修得。アンプやエフェクターの設計から完成までの必要技術の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～33回目	電子部品基礎 エフェクターの電子パーツについて、より深い理解を目指す。				
【前期】 34～68回目	回路設計 エフェクターの回路設計を学ぶ。				
【前期】 69～103回目	電気修理基礎 エフェクターの様々な症状における修理のアプローチを学ぶ。				
【前期】 104～138回目	エレクトロニクス製作技術 エフェクターの基盤の製作やアルミケース・シャーシの加工				
【後期】 139～173回目	電子部品基礎 アンプの電子パーツについて、より深い理解を目指す。				
【後期】 174～207回目	回路設計 アンプの回路設計を学ぶ。				
【後期】 208～242回目	電気修理基礎 アンプの様々な症状における修理のアプローチを学ぶ。				
【後期】 243～272回目	エレクトロニクス製作技術 アンプの製作やケース・シャーシの加工				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	アンプエフェクター実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	アンプエフェクター実習		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	302回(302単位時間)	年間単位数	10
科目設置コース	ギター製作研究コース				教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴						
授業概要						
「アンプエフェクター講義」の知識をもとに、実際のアンプ・エフェクターを製作する。						
到達目標						
オリジナルでのエフェクター・アンプの製作。						
授業計画・内容						
【前期】 1～30回目	歪みエフェクター製作					
【前期】 31～60回目	オートワウ製作					
【前期】 61～90回目	モジュレーション系エフェクター製作					
【前期】 91～120回目	コンプレッサー製作					
【前期】 121～155回目	オリジナル回路エフェクター製作①					
【後期】 156～271回目	真空管アンプ製作					
【後期】 272～302回目	オリジナル回路エフェクター製作②					
評価方法	実習製作物の評価、出席率、平常点の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	ギターCADデザイン講義		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	ギターCADデザイン講義	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	272回(272単位時間)	年間単位数	18
科目設置コース	ギター製作研究コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	都内にて個人工房(ギターとベースの製作、修理業)を経営中。CAD/CAMと機械オペレーターの知識、経験を活かし講義を行う。				
授業概要					
PCの基本操作、Adobe Illustratorの操作、Autodesk Fusionの操作を学び、データ作成方法について学ぶ講義。					
到達目標					
デジタル製図、CADデータ化の作図方法を学びCAD/CAMを扱える知識と技術を習得する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～33回目	PC基本操作方法・ネットワークを介したファイル管理 Adobe Illustrator設定・ファイル作成・各種ツールと表示ウインドウ理解と習得				
【前期】 34～68回目	補助線、補助ツールの設定・データでの作図方法・各部寸法記入				
【前期】 69～103回目	形式の確認と保存または書き出し・プラグインの導入、利用				
【前期】 104～138回目	コピー用紙への印刷・レーザー加工・CAD図面化をして作品製作に利用				
【後期】 139～173回目	Autodesk Fusionの設定と操作方法・ファイル作成・各種ツールと表示ウインドウ理解と習得				
【後期】 174～207回目	XYZ日、補助線、h所ツールの設定・データでの作図方法・各部寸法記入				
【後期】 208～242回目	図面を立体化して3Dモデルを作成・完成したモデルをポスト処理してCAM化				
【後期】 243～272回目	ポスト処理～NCデータ出力・作成したデータをCNCルーターへ転送～素材加工				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 楽器技術研究科 ギター製作研究コース

授業科目名	ギターCADデザイン実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	ギターCADデザイン実習	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	302回(302単位時間)	年間単位数	10
科目設置コース	ギター製作研究コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	都内にて個人工房(ギターとベースの製作、修理業)を経営中。CAD/CAMと機械オペレーターの知識、経験を活かし講義を行う。					
授業概要						
PCの基本操作、Adobe Illustratorの操作、Auto Desk Fusionの操作を学び、データ作成方法について学ぶパソコン実習。						
到達目標						
作成したデータをもとにレーザー加工機、CNC彫刻機、CNCルーターを稼働させ治具類または作品の製作に活かしていく。						
授業計画・内容						
【前期】 1～38回目	スキャンした手書き製図の取り込み・図面上への配置・手書き製図を元とした図面の作成					
【前期】 39～77回目	各部に配置されるパーツ類、キャビティなどの書き込み・データ上での楽器設計					
【前期】 78～116回目	完成図の作成・各部寸法の記入・必要となる治具類の図面作成					
【前期】 117～155回目	レーザー加工機、CNC彫刻機で加工するためのデータアウトプット・治具の作成					
【後期】 156～194回目	3Dモデリングを行う上で必要となる2D図面の作成または取り込み					
【後期】 195～233回目	図面データの3D化～各部の編集方法・楽器としての形を作っていく					
【後期】 234～272回目	3Dデータのクオリティを上げ実物に近づける為の編集方法					
【後期】 272～302回目	作成した3Dデータを元としたCNCルーターを使用した木工加工					
評価方法	実習製作物の評価、出席率、平常点の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						